

ワイヤレスアクセスポイント(WAP)のハードウェア障害の特定

目的

ワイヤレスアクセスポイント(WAP)のハードウェア障害を特定することは、WAPを交換する必要があるかどうか、またはスムーズなネットワーク運用のためにトラブルシューティングを必要とするかどうかを判断するのに役立ちます。

この記事の目的は、ワイヤレスアクセスポイントのハードウェア障害を特定する手順を示すことです。

該当するデバイス | ファームウェアのバージョン

- WAP121 | 1.0.6.5 (最新の[ダウンロード](#))
- WAP131 | 1.0.2.8 (最新の[ダウンロード](#))
- WAP150 | 1.0.1.7 (最新の[ダウンロード](#))
- WAP321 | 1.0.6.5 (最新の[ダウンロード](#))
- WAP351 | 1.0.2.8 (最新の[ダウンロード](#))
- WAP361 | 1.0.1.7 (最新の[ダウンロード](#))
- WAP371 | 1.3.0.3 (最新の[ダウンロード](#))
- WAP551 | 1.2.1.3 (最新の[ダウンロード](#))
- WAP561 | 1.2.1.3 (最新の[ダウンロード](#))
- WAP571 | 1.0.0.17 (最新の[ダウンロード](#))
- WAP571E | 1.0.0.17 (最新の[ダウンロード](#))

ハードウェア障害の特定

物理接続とライトの確認

注：イメージは、WAPの正確なモデルによって異なります。この記事で使用されている画像は、WAP321から取得したものです。



手順 1

WAPがPower over Ethernet(PoE)経由の電力を使用している場合は、イーサネットポートからPoEソースに接続するイーサネットケーブルが正しく接続されていることを確認します。AC電源アダプタを使用している場合は、電源アダプタが電源ポートに正しく接続され、電源コンセントに接続されていることを確認します。



注：WAPがルータまたはスイッチから完全な電源を供給していることを確認するために必要なPoEタイプをメモします。デバイスのドキュメントで、802.3afまたはHigh Power 802.3at PoE規格に対応しているかどうかを確認し、スイッチまたはルータがWAPに対応できるかどうかを確認します。アクセスポイントのPoE電源を確認するには、[ここをクリックします](#)。

手順 2

WAPの電源ライトをチェックし、通常の状態を次のように確認します。

- オフ (緑) – システムオフ
- ソリッド (緑) – システムがオンで準備完了
- 点滅 (緑) : ブートまたはシステムセルフテスト、またはIPアドレスの取得
- 点滅 (オレンジ) – ハードウェア障害の検出

手順 3

電源ライトがオフの場合は、別の電源コンセントに差し込むか、同じ仕様の別の電源アダプタを使用して再試行してから、電源ライトをもう一度確認します。これは、問題が電源アダプタ、電源コンセント、またはデバイス自体にあるかどうかを特定するのに役立ちます。

手順 4

WAPのイーサネットライトを確認し、通常の状態を次のように確認します。

- OFF (緑) : リンクが検出されません。
- ON (緑) : リンクが検出されました。
- 点滅 (緑) : データの送受信。

手順 5

イーサネットライトがオフの場合は、イーサネットケーブルの両端がコンピュータのイーサネットポートとWAPで正しく保護されているかどうかを確認します。別のイーサネットケーブルを使用して、もう一度ライトを確認することもできます。これは、物理接続、イーサネットケーブル、またはデバイス自体に問題があるかどうかを特定するのに役立ちます。

手順 6

WAPのWirelessライトをチェックし、通常の状態を次のように確認します。

- 点滅 (緑) : ワイヤレスデータの送受信。

ステップ7

上記の手順を実行しても、インジケータライトが点灯しない、または正常に動作しない場合は、WAPを工場出荷時のデフォルト設定にリセットする必要があります。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。これは、WAPのファームウェアをアップグレードする必要があることを意味する場合があります。手順については[ここ](#)をクリックしてください。

注：上記のすべての手順が正しく動作しない場合は、デバイスを交換する必要があることを示している可能性があります。

これで、ワイヤレスアクセスポイントのハードウェア障害が特定されました。